

# ハローワーク四日市 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、地域でハローワークが役割を果たすため、マッチング機能強化と地方自治体との連携強化に重点を置き業務に取り組み、相談窓口支援に加え、学校卒業予定者をはじめ高齢者、障害者向けの就職面接会の開催、求人充足を目的に事業所情報の収集やミニ面接会・管理選考の実施により、求職者の就職支援及び求人者の採用活動を支援しました。市町とも積極的な連携に努め、就職面接会や各種セミナーの共催、「雇用対策協定」（四日市市）に基づく具体的な共通目標を設定して協力しながら事業実施に取り組みました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、若手職員の育成を図るため、担当者制による支援や事業所情報収集の責任担当を任せ、就職支援や求人充足に取り組みました。また、窓口相談では幅広い知識が必要なことから、職員研修（LGBTの理解、労働基準法、雇用均等行政、接遇、先端企業の会社説明等）による資質向上、サービス向上に取り組みました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎外に設置されていたマザーズコーナーを庁舎内に移設し、ワンストップでの支援体制を確保して利便性を向上させました。また、職業紹介窓口利用者の待ち時間短縮に向け、職員の意識改革を促し応援体制により職業相談時間の確保に努めました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

有効求人数が前年度比で5.9%増加、新規求人数は2.1%増加する一方、有効求職者数は前年度比で1.7%減少、新規求職者数は4.4%減少しているなかで、職業紹介件数（前年度比▲16.3%）、就職件数（前年度比▲10.5%）と前年度を下回っています。求人票における仕事内容や求人条件の充実、求職者の希望条件の的確な把握によりマッチング機能をさらに充実させる必要があり、求人者や求職者の担当者制による個別支援の充実を図っていきます。また、求職者の希望が多い職種、高齢者や障害者等利用者のニーズに応じた企業説明会、就職面接会、ミニ面接会の開催を計画していきます。さらに、人手不足業種や職種を中心に事業所情報の収集に努め、企業の人材確保に向けた支援の充実を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

障害者の雇用促進に重点的に取り組んだ結果、就職件数は351件となり、管内の障害者雇用率は2.27%と0.2ポイント改善されました。しかし、障害者雇用率の達成企業の割合は53.7%であり改善に向けた取組が課題となっています。雇用率未達成企業に対する指導強化を図るとともに、障害者支援機関との連携により一人でも多くの障害者が雇用に結びつくよう企業支援に努めたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	ハローワークの職業 紹介により正社員に 結びついたフリータ 一等の件数	公的職業 訓練修了3 か月後の 週h総件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,222	3,417	1,445	81.7%	95.5%	16.4%	15.6%	351	586	226	15,604	1,606
目標	3,524	3,702	1,076	90.0%	90.0%	18.6%	18.1%	362	690	203	15,495	1,793
目標達成率	91%	92%	134%	—	—	88%	86%	96%	84%	111%	100%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク伊勢 就職支援業務報告（平成 30 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は3市4町を管轄することから、自治体との連携強化に重点を置き、ハローワークが地域での役割を果たすため、地方自治体との情報共有や連携に努めることとし、就職面接会や各種セミナーの共同開催、事業主への共同要請、自治体主催イベントへの参加などに取り組みました。

障害者、生活保護受給者等の就労支援においては自治体に加え、関係機関との連携強化に努めた結果、両指標とも就職目標を上回ることで、管内の障害者雇用率も2.14%まで改善することができました。

また、伊勢市とは、平成30年2月22日に三重労働局との間に締結した「雇用対策協定」に基づき、様々な事業を連携して取り組みました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

来所者の利便性の向上を図るため、庁舎事務室のレイアウトを大幅に見直し、待合スペースを確保するとともに、ゆっくりと求人検索ができるよう座り席を一定数設置しました。

一定の基準で選定した求人掲示板の設置や、ポスター等の掲示を見やすいものとするなど、来所者に対するより効率的な情報の提供を心がけました。

利用者の満足度の向上を図り、職員の資質向上等を目的として、若手職員に対して職業紹介業務・求人受理業務に関する基礎研修を実施しました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職件数について、目標を達成することができなかったことから、求職者担当者制の拡充、受給者の給付制限中の職業相談、ミニ面接会開催方法の見直しなど、マッチングを強化していきます。

また、求人充足・事業所へのサービス強化のため、詳細な事業所情報収集のための事業所見学及び求人担当制の見直し、紹介部署と求人部署の連携をより密にすることで、求人者への支援・フォローアップを強化していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の就 職件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,675	2,404	703	80.0%	96.3%	17.1%	18.3%	232	155	6,608	1,188
目標	2,670	2,384	775	90.0%	90.0%	19.2%	19.5%	231	147	6,283	1,196
目標達成率	100%	100%	90%	—	—	89%	93%	100%	105%	105%	99%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク津 就職支援業務報告（平成 30 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

求人数が求職者数を大幅に上回り、企業の人材・人手不足が深刻化するなか、当所では求人者サービスの向上により注力することとし、所内での取組体制を強化するため、求人充足会議の充実を図るとともに、企業の人材確保のための企業説明会等を開催しました。

また、福祉、建設、警備、運輸分野等（以下「人材不足分野」という。）の人材確保を目的に、当年度新たに設置した人材確保コーナー（以下「コーナー」という。）では、人材不足分野の業界団体を訪問し、コーナーの周知と各業界の労働力のマッチング機能の強化への連携について働きかけを行いました。併せて、人材不足分野の事業所をコーナー全職員が重点的に訪問し、各事業所の情報を収集するとともに人材不足分野に係る業務の知識を深め、マッチングの向上に繋げることにしました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者及び求職者に対する効果的な情報の提供を心掛け、エントランスホールでは、画像情報付求人、人材確保対策分野の事業所のPR、イベント、職業訓練の案内等各種の収集した情報を利用者に提供できるよう工夫を行いました。

また、求職者の待合スペースでは、大型モニターによる情報提供のほか新たにパブリックディスプレイを設置し、就職面接会やセミナー等再就職に係るイベント情報がより利用者の目に留まりやすいような工夫を行いました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者の減少が続き、管内の有効求人倍率が高水準で推移するなか企業の人手・人材不足がますます深刻化しており、引き続き求人者への人材確保のための支援求められています。

そのため、当所のマザーズコーナー、生涯現役支援窓口及び障害者コーナー等各窓口の充実と利用促進を図り、女性、高齢者、障害者などの潜在的な求職者への再就職支援を強化することにより、求人への充足等に繋げていくこととします。

#### (4) その他業務運営についての分析等

平成30年8月に当所管轄地域と市域が同一となる津市（以下「市」という。）と三重労働局との間で、雇用対策協定が締結され、その準備段階から、市と協議を重ねることにより雇用・労働に関する情報の共有をより一層図ることができました。その結果、市と連携した各種の事業を展開することができ、当所の地域での存在感の向上にも繋がったと考えています。

また、障害者の雇用に関しては、就職面接会等の複数開催や未達成企業への度重なる指導等を行い着実に進展しています。

## 2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	マザーズ・ハローワ ーク事業の就 職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・保 育分野の就職 件数
実績	3,377	3,598	1,053	87.0%	90.0%	16.5%	17.7%	98	99.2%	11,931	1,551	458
目標	3,340	3,565	955	90.0%	90.0%	17.7%	20.1%	84	92.1%	12,339	1,606	418
目標達成率	101%	100%	110%	—	—	93%	88%	116%	107%	96%	96%	109%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク松阪 就職支援業務報告（平成 30 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標を主要指標のほか全ての指標においての目標達成の基礎と考え、アウトプット目標として、新規求職者に対する紹介率 110%及び紹介成功率を 30.9%と定め、数字を意識しながら取り組みました。結果としましては、紹介率は 104%に止まったものの、紹介成功率は 33.8%と目標を大きく達成し、就職件数は目標の 107%を達成することが出来ました。

また、重点的に取り組むこととしました、求人充足件数、求人に対する紹介率、生活保護受給者等の就職件数、障害者の就職件数、正社員求人数、正社員就職件数についても、地方自治体等の関係機関との連携により、支援対象者等に対する丁寧な相談・支援や就職面接会、職場見学会、就職支援セミナーなどのイベントの開催等により目標を達成することができました。

しかしながら、以前からの課題であった雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成については、30年度の「積極的に取り組むテーマ」として業務の改善を図ってきましたが、目標を達成できなかったことが非常に残念でした。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、全職員・全非常勤職員を対象に総合評価に関する研修を実施し、加えて、求職者支援・求人者支援の充実を図るために、労働基準監督署の職員を講師として研修を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者に対する効果的な情報の提供を図るための方策について、職員、非常勤職員から提案を求めたところたくさんの提案があり、今年度は窓口誘導のための貼り紙を各求人検索機の傍らに掲示するなどのサービス改善を図りました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今後も、雇用情勢の改善等により求職者の減少傾向が続く中、企業における人手不足に対する支援が求められています。当所は以前から、企業から頂いた求人の内容に磨きをかけるため、職業相談部門と求人部門が連携して「求人充足会議」を実施してきましたが、「求人充足会議」

の内容を全面的に見直し、恒常的・継続的に会議が実施できるよう充実に図り求人者支援に努めてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

当所は従来松阪市との連携がうまく図られており、特に、障害者等の就職困難者への支援のための連絡会議や障害者就職面接会、企業向セミナー等を共催で開催しています。また、市役所内に生活保護受給者等の相談窓口を設置し当所の職員が職業相談を実施しております。

今後も引き続き、松阪市と三重労働局との間で締結した雇用対策協定に基づき、就労支援の強化、企業の人材確保・成長発展の実現にむけたハローワークの役目を果たすために、松阪市とより一層の連携を進めてまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	
実績	2,909	2,761	893	89.0%	94.4%	18.6%	18.8%	254	164	7,618	1,449	
目標	2,719	2,498	905	90.0%	90.0%	18.7%	19.9%	214	157	7,420	1,321	
目標達成率	106%	110%	98%	—	—	99%	94%	118%	104%	102%	109%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク桑名 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、雇用保険受給者の早期再就職支援を重点的に進めることとし、認定日全員相談の実施、担当者制による職業相談、認定日における求人情報提供、給付制限期間中の積極的活動を推奨するため認定日当日における職業相談の実施、就職支援セミナーへの積極的な参加案内などの取り組みを行いました。

また、雇用保険の認定日を職種別に設定するとともに、職種別に合わせたミニ面接会・会社説明会を373回開催し、参加者940名、紹介件数308件、うち就職者が128名と一定の効果があり、参加された企業や求職者の方からも評価をいただきました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、非常勤職員を含むすべての職員が、業務改善・業務簡素化を意識して業務に当たるよう指導し、その提案がいつでもできるように所長室入口に提案BOXを設置しました。また、係長・上席、一般職員、非常勤職員の職責ごとに、定期的にミーティングを開催し、職場内の閉塞感の確認、業務への提案などがやがや会議的に意見を出せる場を作りました。

非常勤職員を含むすべての職員が所内全ての業務に精通することを目指して、若手職員及び専門相談員を講師とし、13業務に係る研修を行いました。業務が分かることにより、係と係の横の連携がしやすくなったと思われます。

他には、「働き方改革」に対する認識及び知識の向上を目指して、雇用環境・均等室の職員を講師とした他系統の研修も実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークの場所が分かりづらいという意見があったことから、のぼりを作成して玄関に立て、外部イベントに参加の際ものぼりを掲げてハローワークの周知を行いました。

地元のフリーペーパー「くわな新聞」にハローワークの支援メニューなどの記事掲載を定期的に行い、また、各自治体のイベントで出張ハローワークを開催し、各種情報の提供、簡易相談などを行いました。

求人者ニーズを把握する中で、学卒求人の未充足に危機感を持っている企業が多かったことから、求人者へのサービスとして現役の高等学校

進路指導主事の講義を「今どきの高校生の就職トレンド」と題してセミナー形式で行いました。

障害者関係では、いなべ市、東員町で障害者就職面接会を初めて開催し、地方自治体との連携体制を構築することができました。

満足度調査のアンケート結果のうち、当所へのご意見・ご要望については、所長のコメントを記載して所内掲示をしました。また、ご意見箱を改修し、「所長室直行便回収箱」とし、来所者が意見しやすいよう工夫しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

桑名市雇用対策協定を締結してより一層の関係を構築するとともに、他の管内自治体についても同様の連携構築を図り、その中で、子育て中の方への雇用対策や人手不足分野に係る雇用対策について、各自治体と連携して事業を進めていきます。

隣接する愛知局、岐阜局との連携を強化するため、3所合同面接会の開催を計画していきます。

また、共通採用事務官の業務の幅を広げるため、長期計画に基づく業務研修を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

名古屋のベッドタウンでもあるため、特に正社員希望者が都会へ流れる傾向があり、正社員就職件数が目標に達することができませんでした。

今後は、「正社員強化ウイーク」「製造業求人強化ウイーク」「保育士強化ウイーク」など正社員に特化したミニ面接会・会社説明会を集中的に開催し、企業のPRを行うことで地元就職を促進できるようにいたします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターに よる正社員 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,365	2,278	852	81.9%	100.0%	16.4%	16.2%	213	253	7,872	1,134
目標	2,338	2,105	781	90.0%	90.0%	17.1%	16.6%	211	169	7,454	1,174
目標達成率	101%	108%	109%	—	—	95%	97%	100%	149%	105%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク伊賀 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、深刻化する人手不足に対応するため、求人充足率の向上と正社員の就職促進を重要課題と捉え「求人充足件数」「正社員就職件数」「学卒ジョブサポーターによる正社員就職件数」の目標達成に向け、正社員求人を中心とした就職面接会や求人担当者制等の取組を実施しました。特に「ミニ面接会・管理選考」は年間115回程度実施し、参加事業所の求人に対しては早くからマッチングを行い、ダイレクトメール等により求職者に働きかけ、案内掲示も工夫して、できる限り面接者0人とならないよう努めました。その結果「求人充足件数」は目標2,038件に対し1,945件（目標達成率95%）と目標に5%及びみせんでしたが、「正社員就職件数」目標997件に対し999件（目標達成率102%）「学卒ジョブサポーターによる正社員就職件数」目標85件に対し98件（目標達成率115%）と共に目標を達成することができました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、利用者への満足度をアップさせるため、職員の相談技法研修として「傾聴研修及びキャリアコンサルティング技法研修」、職員の資質向上として労働基準監督官を講師とした「働き方改革関連法に関する研修」を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

増加する高年齢求職者に対するサービス向上のため、当所で月に3度発行する「ハローワーク求人情報」に併せ「中高年齢者向け求人情報」をA3版で文字を大きくし見やすくして発行することとしました。この「中高年齢者向け求人情報」は年齢不問求人の中でも特に仕事内容が高年齢者向けのもの、求人者から高年齢者を採用のターゲットにしたいと申し出のあった求人を中心に掲載することにより高年齢者が採用されやすい内容となっています。

また、毎週月曜日に実施する求人充足会議については、翌週の金曜日に検証会議を実施しており、マッチング支援期間を2週間とすることで、統括官による管理も強化する取組となっています。2週間をかけて求職者マッチング・求人情報提供・電話確認・紹介等を行っても充足に至らなかった求人については、求職者から出された求人内容への疑問点・要望を求人者へ確認することにより、求人内容のブラッシュアップを図る取り組みを実施し、さらに求人者との信頼関係の構築のためマッチングに当たった職員がそのまま担当する求人者担当者制を実施しています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人・求職者サービス満足度調査において、求職者に関しては目標を上回る結果であったものの、求人者満足度においては70.7%と目標を達成できず、低い満足度であったため、基本サービスの徹底を図り、サービスの向上に取り組めます。

また、県境を越え管轄が隣接する奈良局桜井所との「伊賀・桜井地域連携会議」を継続し、共同企画事業として第3回合同就職面接会を宇陀市において平成30年12月12日に開催しました。この面接会においては参加11事業所に対し、37人の求職者が訪れ一定の成果を上げることができました。今年度も県境を越えた連携に努め、広域労働移動・UIJターンの実現に向け第4回合同面接会等を企画してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

減少する求職者を背景にハローワークの利用促進のためのポスターを製作し、主要駅、公的機関等への掲示によりPRに努めてきましたが、今後も自治体との更なる連携により人材確保対策の推進と、今後「働き方改革」を進めるうえでも、正社員求人の内容の充実を図り魅力ある求人確保に努め、ひとりでも多くの方が正社員として就職できることを目指します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターによる正社員 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,305	1,945	746	70.7%	96.6%	19.0%	16.8%	122	98	5,650	999
目標	2,340	2,038	723	90%	90%	19.0%	18.5%	120	85	6,293	977
目標達成率	98%	95%	103%	—	—	100%	90%	101%	115%	89%	102%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク尾鷲 就職支援業務報告（平成 30 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

ハローワークの基本的な業務指標である、就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数について、確実に目標を達成することが最重点課題であると再認識し取り組みました。

そのために、マッチングを始めとした基本業務の徹底、担当者制の効果的な実施、日々の進捗管理の情報共有を確実に行いました。また、新たに導入したエクセル管理表を活用し、各職員が個々の実績や全体の進捗状況を確認しながら取り組みを進めました。この結果、就職件数、充足件数は目標を達成し、特に新規求職者に対する就職率は 44.7%と昨年度を上回り、県下でも最も高い数値となっています。

雇用保険受給者の早期再就職件数はわずかに目標には至りませんでした。早期再就職割合は昨年度を上回り、特に再就職手当の活用については、雇用保険説明会や職業相談に併せてシュミレーションを全員に実施するなど積極的な周知を行い、再就職手当受給による早期再就職割合は 26.8%と県下でも 2 番目に高い数値となりました。

また、「求職者目線、事業所目線での接遇面の充実・向上を図ること」を念頭に取り組み、あいさつの励行をはじめとして丁寧な接遇に努めました。利用者満足度調査の結果を見ると、求職者（県下 2 位）、求人者（県下 1 位）と高い評価を受けておりますので、引き続き地域にとって必要とされるハローワークとなるよう努めます。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークの周知と窓口への誘導を図るため積極的に情報発信を行いました。特に求人情報誌については、管内自治体の他、昨年度より地元スーパーマーケットでの配布を行っていましたが、取り組みの拡大を図り、出張所も含めた管内全地域のスーパーマーケットで両所の求人情報誌の配布を行うこととしました。また、地元金融機関との働き方改革に係る包括連携協定の締結に併せて、金融機関の窓口や ATM コーナーでの求人情報誌の配布を開始しました。

この取り組みにより、求職者の方からは「非常に便利になった」と高評価をいただいております。また、窓口利用者の増加の動きもみられ、当所の課題であった新規求職者の減少の改善にも一定の効果を得ることができました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度は上記の取り組みの成果もあって、求職者の減少に歯止めがかかり、就職件数の目標を達成することができました。しかし今後も成果を上げていくためには、引き続きハローワークに来所していない求職者への来所勧奨や潜在的な求職者のハローワークへの誘導が必要となります。このため、幅広い求人情報誌の配布をはじめ情報発信の強化を図り、ハローワークの周知、窓口の利用拡大につなげて行きます。併せて、ハローワークを利用された方々がより満足いただけるよう、職員の資質向上に努め、効果的な職員研修の実施に取り組んで参ります。

(4) その他業務運営についての分析等

当地域は県下で最も高齢化が進んでいる地域であり、若年者を中心として管外への人口流出に伴う人口減少が加速化し、地域の活性化の取り組みが喫緊の課題となっています。そのため、市町や商工団体等地域の関係機関との連携を密にして取り組んで行きます。

また、企業にとっては人口減少に伴う労働力の確保が課題となっておりますので、魅力ある職場作りのための雇用管理改善の推進について引き続き周知を行い、求人の充足、人材の定着につなげて行きたいと考えています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数		
実績	1,158	1,122	266	90.5%	99.0%	14.0%	19.5%	63	2,171	374		
目標	1,128	1,119	273	90.0%	90.0%	16.6%	20.2%	60	2,176	400		
目標達成率	102%	100%	97%	—	—	84%	96%	105%	99%	93%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク鈴鹿 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、前年度の課題を踏まえ、「仕掛けるマッチング（29年度から継続）」や「会社説明会（30年度新規）」などを精力的に取り組みました。「仕掛けるマッチング」については、双方向による求職者担当制をメインに実施し、個々に担当した求職者へのアプローチの手法等振り返ることが出来るよう、また、成功例等を共有出来るよう、管理表に基づき個々での管理もしっかり取組むようにしました。また、求人票とのマッチングによる積極的な情報提供、雇用保険受給者には認定日に原則毎回の職業相談、必要に応じた応募書類の作成指導等にも取り組めました。特に30年度新たに取組んだ「会社説明会」について、参加者から「求人情報にない実態に即した内容が把握できてよかった」、また、参加求人者からは「求人内容にマッチした求職者に出会えた」などの評価をいただいています。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の育成と意見の言いやすい職場環境づくりを図る観点から、若手・中堅職員中心の業務検討会議を29年度に引続き開催し、窓口活性化を年間テーマに相談窓口の増設と来所者の待合スペースの確保のため、また、新システム導入を視野に入れ、レイアウト変更を検討しました。また、全職員・全相談員に対し、「服務規則」「個人情報漏えい防止」「電話対応」「30年度職業紹介テーマ」の研修を実施し、労働局職業安定監察官による「PDCAサイクルによる業務目標管理」及び「マッチング機能に関する業務の総合評価」の研修を実施しました。また、若手職員・新規採用相談員を対象に「職業紹介業務・基本のき」「職業訓練業務の基本」「雇用保険給付業務」の研修を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用頻度が減少している求人情報提供端末を10台撤去し、空いたスペースに求人係の窓口3席を設け、求人係を独立させることにより相談窓口を増設することができ、待合スペースの拡充にも繋がりました。また、庁舎内のトイレが全て和式であったため来所者から苦情が何度かありましたが、一部洋式に改修することができました。来所者からは「待合スペースを初め、施設環境がよくなった」などの評価をいただいています。

若者の地元定着を図るため、亀山市雇用対策協議会と協力し「親子と企業の就職懇談会 in 亀山」を「講演会」も含め二部構成で初開催しました。結果は、3月2日（土）にもかかわらず、参加事業所15社・参加者50名であり、来場者やマスコミからも高評価をいただきました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人倍率が高止まりで推移しており、人手不足がかなり深刻化しています。求職者数の減少とそれに連動した相談件数・紹介件数が低下しており、増加傾向にある未充足求人をどう解消していくかが課題です。「仕掛けるマッチング」等能動的マッチングを積極的に展開し、求人者にも雇用情勢の現状を促し、労働力の確保に繋がる支援を自治体と連携して取組む必要があります。地域の労働力の需給調整のため、鈴鹿市との雇用対策協定（平成31年1月24日締結）・亀山市雇用対策協議会等と今まで以上の協力体制を構築し、より効果的なイベント（面接会等）施策を打ち出していきたいと考えています。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内は、県内で最も外国人労働者の多い地域であり、派遣・請負など短期の雇用形態で離転職を繰り返す者も多く、大量離職に繋がるケースもあります。30年度は、年間通じてこの外国人大量離職者問題と向き合うこととなりました。雇用保険の受給手続きや職業相談の時点で言葉の問題もあり労力と時間を費やすこととなり効率的な対応に苦慮しました。今後は、早期の情報収集に努め、自治体の生活支援と連携したワンストップの支援体制を確立し外国人離職者の就職支援に努めていきます。

また、障害者分野において「鈴鹿市発、障がい者の就労マルシェ」を鈴鹿市とハローワークの主催で毎年開催しており、その中で障害者就職面接会を開催しました。特に今年度は、他の自治体の市議会議員が視察に来場しており、「すばらしい取組みである。是非、参考にさせてもらいたい同様の取組みが実現出来るよう議会で提案していきたい」などの評価をいただきました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	公的職業訓 練修了後3 か月後の就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,300	1,960	1,879	83.8%	93.8%	15.9%	14.9%	246	143	7,620	1,101
目標	2,511	2,108	1,056	90.0%	90.0%	18.3%	17.3%	245	106	7,279	1,174
目標達成率	91%	92%	177%	—	—	86%	86%	100%	134%	104%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

